















腹部大動脈瘤人工血管置換術を受けられる

様の計画書

<<DYTODAY_W>>

神戸市立医療センター中央市民病院 心臓血管外科












月日	/ /		/ /		/	/ ~ /	/ ~ /	/	
	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術翌日	術後2~6日目	術後7日目~退院まで	退院日	
入院								退院	
検査	レントゲン・心電図・血液検査を必要に応じて行います。		4階の手術室で行います。手術後はICU(集中治療室)に入室します 		適宜レントゲン・血液検査をします。 		手術後1週間を目安にCTの検査があります。		
治療・処置		看護師介助のもと毛ぞり・お臍の処置を行います。処置後にシャワーに入ってください。	麻酔から見めるまで口の中に管が入り、人工呼吸器を使用します。	手術中に尿を出すための管と鼻から胃に管が入ります。	身体の状態により尿の管を抜きます。	お腹の動きを確認するため手術後数日は毎日レントゲン撮影を行います。また、排ガス(おなら)や排便状況を確認します。 		順調に経過すれば手術後1~2週間で退院となります。 	
お薬	入院時に常用しているお薬は持参して下さい。下剤の内服が開始されます。	眠れない場合には眠剤をお渡しします。		点滴が入ります。 	点滴が24時間続きます。抗生剤の点滴を投与します。	鼻から入っている管は食事食べられるようになれば抜きます。		※術後の経過により転院が必要な場合があります。	
清潔	手洗い・うがいをしましょう。	歯磨きをしましょう。男性は髭剃りもしましょう。			看護師が介助し、お身体を拭きます。	傷の状態によってシャワーに入れるようになります 			
安静	病院内フリー 		ベット上安静		積極的にリハビリを進めましょう。 				
食事	消化の良い食事に変更になります。手術前日には医師より絶食指示があります。		絶食 		お腹の動きを確認しながら、まずはお水から飲みます。そして、消化の良い流動食が開始になり、徐々にいつものお食事に戻ります。				
説明・指導	主治医より手術の説明があります。ご家族の方も一緒にお越し下さい。手術前日には麻酔科医師の診察があります。 		ご家族の方は手術予定時間の1時間前には病室へお越し下さい。	ご家族の方は手術の間、待合室で待機して下さい。	痛みや吐き気があれば我慢せずに伝えて下さい。状況に応じてお薬を使います。(手術後、吐き気がでたり、便秘・下痢になることがあります。)			看護師より退院後の生活、次回外来日についての説明があります。	
	看護師より入院生活・手術の準備について説明があります。手術のパンフレットにある必要物品を看護師にお渡し下さい。		手術の時間は緊急手術等で予定より遅れる場合があります。 	手術後にICUで手術の内容を説明します。	手術後は一時的にお腹の動きが悪くなります。リハビリをすることでお腹の動きは促進されます。どんどん身体を動かしましょう。 			退院前には薬剤師よりお薬の説明があります。	
	薬剤師がお薬の確認をします。 		手術後の経過に関しては患者さまによって大きく差があります。そのため、記載内容と異なる場合もあります。状況に合わせてその都度医師より説明させていただきます。		退院に向けて心臓リハビリに参加しましょう。講義は誰でも参加できます(ご家族の方も参加可能)。運動は医師の指示が必要です。		心臓リハビリとは心臓病の再発予防・生命予後の改善を目的に講義・運動・健康相談を行っているプログラムです。 		

腹部大動脈瘤人工血管置換術を受けられる (心臓リハビリテーション転院予定)

様の計画書

<<DYTODAY_W>>

神戸市立医療センター中央市民病院 心臓血管外科

月日	/ /		/ /		/	/ ~ /	/ ~ /	/
	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術翌日	術後2~6日目	術後7日目~転院まで	転院日
検査	レントゲン・心電図・血液検査を必要に応じて行います。		4階の手術室で行います。手術後はICU(集中治療室)に入室します 		適宜レントゲン・血液検査をします。		手術後1週間を目安にCTの検査があります。	
治療・処置		看護師介助のもと毛ぞり・お臍の処置を行います。処置後にシャワーに入ります。		麻酔から覚めるまで口の中に管が入り、人工呼吸器を使用します。 手術中に尿を出すための管と鼻から胃に管が入ります。	身体の状態により尿管を抜きます。	お腹の動きを確認するため手術後数日は毎日レントゲン撮影を行います。また、排ガス(おなら)や排便状況を確認します。 		順調に経過すれば手術後7~10日で転院となります。 
お薬	入院時に常用しているお薬は持参して下さい。下剤の内服が開始されます。	眠れない場合には眠剤をお渡しします。		点滴が入ります。	点滴が24時間続きます。抗生剤の点滴を投与します。 お腹を動かすお薬が始まります。絶食の間は鼻の管からお薬を入れます。 	鼻から入っている管はお腹の動きが確認できる大事な管です。抜けないように注意しましょう。		※転院先で心臓リハビリテーションを継続し、徐々に日常生活に近づけていきます。
清潔	手洗いうがいをしましょう。		歯磨きをしましょう。男性は髭剃りもしましょう。		看護師が介助し、お身体を拭きます。		傷の状態によってシャワーに入れるようになります 	
安静	病院内フリー 		ベット上安静		積極的にリハビリを進めましょう。 			
食事	消化の良い食事に変更になります。手術前日には医師より絶食指示があります。		絶食 		お腹の動きを確認しながら、まずはお水から飲みます。そして、消化の良い流動食が開始になり、徐々にいつものお食事に戻ります。			
説明・指導	主治医より手術の説明があります。ご家族の方も一緒にお越し下さい。手術前日には麻酔科医師の診察があります。 		ご家族の方は手術予定時間の1時間前には病室へお越し下さい。	ご家族の方は手術の間、待合室で待機して下さい。	痛みや吐き気があれば我慢せずに伝えて下さい。状況に応じてお薬を使います。(手術後、吐き気がでたり、便秘・下痢になることがあります。)		看護師より退院後の生活、次回外来日についての説明があります。	
	看護師より入院生活・手術の準備について説明があります。手術のパンフレットにある必要物品を看護師にお渡し下さい。薬剤師がお薬の確認をします。		手術の時間は緊急手術等で予定より遅れる場合があります。 	手術後にICUで手術の内容を説明します。	手術後は一時的にお腹の動きが悪くなります。リハビリをすることでお腹の動きは促進されます。どんどん身体を動かしましょう。 		転院前には薬剤師よりお薬の説明があります。	
入院前に地域連携担当者より心臓リハビリ転院について説明があります。		手術後の経過に関しては患者さまによって大きく差があります。そのため、記載内容と異なる場合もあります。状況に合わせてその都度医師より説明させていただきます。		心臓リハビリに参加しましょう。講義は誰でも参加できます(ご家族の方も参加可能)。運動は医師の指示が必要です。心臓リハビリ継続のための転院に向け、面談があります。		心臓リハビリとは心臓病の再発予防・生命予後の改善を目的に講義・運動・健康相談を行っているプログラムです。 